

科目名	単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
物理	5	3年・普通科 プロ（理系）	選択G	改訂版 物理 （数研出版）	リードα 物理 （数研出版）

学習目標	2年次で学習した「物理基礎」での物理的な思考方法をさらに発展させ、さらに難しい内容に取り組む。また、物理的視野に立って自然環境やエネルギーに関する様々な問題にも目を向けられる素養を身につける。
主な学習内容	教科書に従い、基本原理、法則を理解し、様々な現象を科学的に捉えた公式を用いて、問題を解決していく力を養う。また、大学受験において物理を受験する場合の実践力を身につけるため、基本的な応用問題にも取り組んでいく。（入試における難問レベルの問題については授業内で扱うのは時間的にも無理があるので各自で積極的に学習を進めていき、不明な点は随時担当教員に質問すること。）
評価の観点・規準	「思考・判断・表現」「知識・理解」に関しては定期考査を主な評価の判断材料とはするが、授業中に発問への答えが適切であったかどうかや小テストの点数が学習内容を十分理解しているかどうか、実験レポートの内容も自己の意見が取り入れていたり、疑問点が記載されていたりと十分な思考がなされているかどうかを判断材料として評価する。 「関心・意欲・態度」に関しては授業中の取組や質問の積極性、レポート等の内容に学習意欲が感じられるか等を主な評価の判断材料として評価する。 「観察・実験の技能」に関しては実験中の器具の取り扱い方が教員の指示に忠実かどうかや、後片付けに関しても熱心かどうか、また、レポートの内容も十分に実験の手順や意図を理解しているかどうか等を主な評価の判断材料とする。
評価の方法	「思考・判断・表現」「知識・理解」「関心・意欲・態度」「観察・実験の技能」について観点別に評価し、総合的に判断して成績をつけます。 ただし、実験等にはなかなか時間はさけないと思われるので定期考査重視となる。

学期	内容
1 学期	第1編 力と運動 第1章 平面内の運動 第2章 剛体 第3章 運動量の保存 《中間テスト》
	第1編 力と運動 第4章 円運動と万有引力 第2編 熱と気体 第1章 気体のエネルギーと状態変化 《期末テスト》
2 学期	第3編 波 第1章 波の伝わり方 第2章 音の伝わり方 第3章 光 《中間テスト》
	第4編 電気と磁気 第1章 電場 第2章 電流 第3章 電場と磁場 第4章 電磁誘導と電磁波 《期末テスト》
3 学期	第5編 原子 第1章 電子と光 第2章 原子と原子核 《学年末テスト》

備考 ・ 講座の特色 ・ 履修条件 ・ 注意事項 等	「物理」を履修する場合は「数学Ⅲ」の履修が必要となります。
--	-------------------------------